

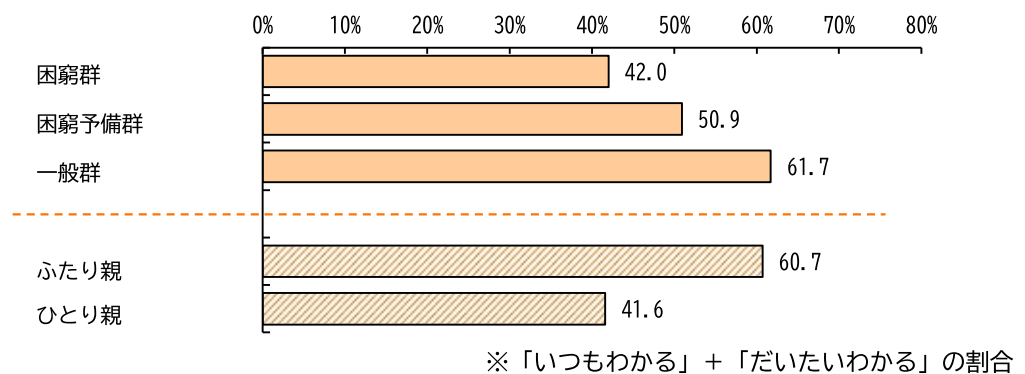
②子どもの生活実態調査

世帯の経済状況（困窮群、困窮予備群、一般群）や世帯の家族構成（ひとり親、ふたり親）により、こどもの生活状況等にどのような影響が生じているかを把握するため、こどもと保護者の回答を紐づけて、分析を行いました。また、市政に対する自由意見欄を設け、こども・保護者からの意見の把握を行いました。

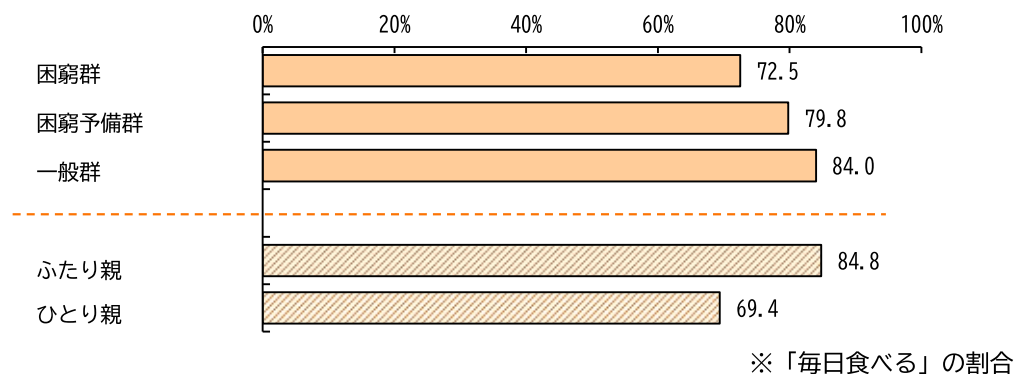
調査結果からは、経済的に困窮するほど、こどもの授業の理解度が低下する傾向があり、生活習慣も乱れやすい傾向が見られました。保護者についても、困窮するほどに、「相談相手や困った際に助けてくれる人がいない」と答える割合が増える傾向があり、孤立しやすい状況が確認できました。

また、ふたり親家庭に比べ、ひとり親家庭で同様の傾向が見られ、家庭環境による格差が生じており、こども・保護者それぞれに支援を行う必要があります。

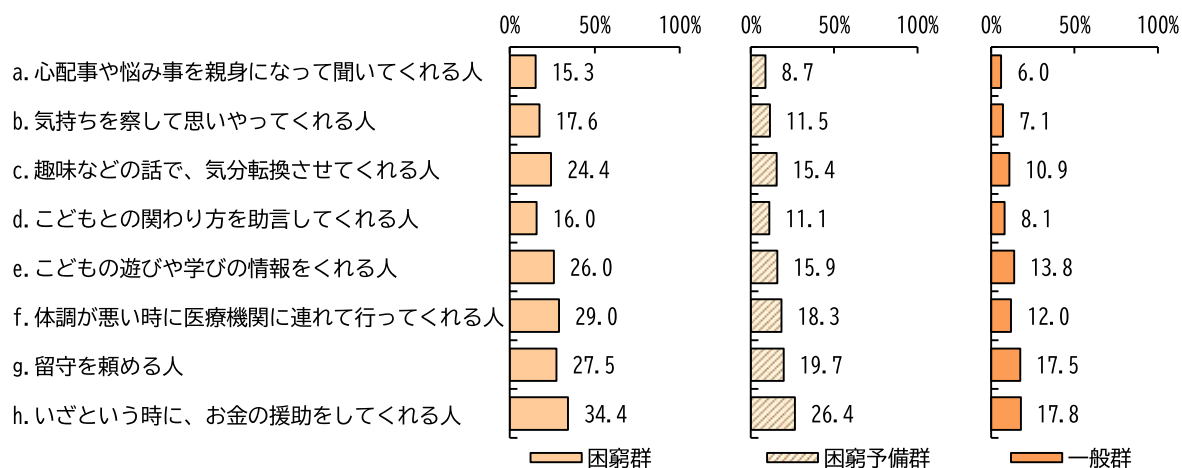
ア【小5・中2こども】授業の理解度（世帯の経済状況別、家族構成別）



イ【小5・中2こども】朝食の欠食状況（世帯の経済状況別、家族構成別）



ウ【小5・中2保護者】相談相手などがないと答えた割合（世帯の経済状況別）



エ 浜松市にしてもらいたいこと

【こども（小5・中2）の主な自由意見】（単位：件）

No.	項目	件数	特に多かった意見など
1	施設（公園、図書館、民間施設等）	195	●「施設」では、公園に関する意見が多く、「公園の増設」「遊具・設備の充実」に加えて、「ボール遊びや運動ができる公園」「天候に左右されない遊び場」「バスケットボールやスケートボードができる公園」の設置を望む声が寄せられました。 ●「学校」に関しては、「校則や制服の見直し」「部活動の地域移行への不安や期待」「施設設備の改善」に関する意見が多く寄せられました。
2	学校（校則、授業、施設・備品等）	184	
3	お金	139	
4	環境、防犯、防災	102	
5	夢、進学、職業	98	
6	こどもの居場所	69	
7	浜松市（まちづくり、暮らしやすさ等）	64	
8	通学路、交通手段	43	
9	いじめ	38	
10	先生	36	
11	学習支援	26	

【こども（16～17歳）の主な自由意見】（単位：件）

No.	項目	件数	特に多かった意見など
1	学習スペース、自習室、居場所	77	●「学習スペース、自習室、居場所」では、「図書館の自習室が混んでいて使いにくい、利用時間が合わない」との声があり、「夜遅くまで使える無料の自習スペースが欲しい」との意見が多く寄せられています。 ●「同世代で交流できる場」「不安なことを相談できる場」など若者向けの支援が少ないとの意見がありました。
2	施設（公園、図書館、民間施設等）	60	
3	通学路、交通手段	60	
4	浜松市（まちづくり、暮らしやすさ等）	47	
5	進学、職業	32	
6	学校（校則、授業、施設・備品等）	21	
7	お金	19	
8	先生	8	
9	環境、防犯、防災	5	

【保護者（小5・中2）の主な自由意見】（単位：件）

No.	項目	件数	特に多かった意見など
1	子育て支援全般の意見	162	●「子育て支援全般の意見」では、「給食費、保育料などの負担軽減の対象を広げてほしい」との意見が多く、「教育費の無償化」や「医療費助成の拡充」と合わせて、経済的な負担軽減を求める声が寄せられています。 ●共働きの家庭からは、「放課後や長期休暇にこどもが安心して過ごせる居場所が少ない」「地域で安心して過ごせる居場所が必要」との意見がありました。 ●「不登校・障がい・発達支援」では、「不登校のこどもが安心して過ごせる居場所があれば、保護者も孤立しにくい」「障がいがあるこどもの支援はあるが、専門施設の定員がいっぱいで利用できない」など支援の充実を求める声があがっています。
2	教育費の無償化・支援等	129	
3	学校・教育関連	127	
4	こどもの居場所・交流等	67	
5	医療費	49	
6	親・家庭の環境、教育の教育	46	
7	不登校・障がい・発達支援	45	
8	学習支援	34	
9	相談支援	31	
10	施設（公園、図書館、民間施設等）	28	
11	放課後児童会	26	
12	ひとり親に関すること	25	
13	安心・安全な地域づくり	24	
14	児童手当	14	
15	いじめ	4	

【保護者（16～17歳）の主な自由意見】（単位：件）

No.	項目	件数	特に多かった意見など
1	子育て支援全般の意見	70	●「子育て支援全般の意見」に関しては、「多子世帯への経済的な負担軽減」を望む声が多く、「教育費の無償化・支援等」では、「大学等の進学に関する金銭的負担の軽減」を求める意見が多く寄せられています。 ●「相談支援」では、「乳幼児期は充実しているが、小学生以降では対面で相談ができる所が少ない」「SNSやオンラインでの情報発信や相談窓口の設置を望む」との声も寄せられています。 ●「学習スペース、自習室、居場所」では、「虐待やいじめなど、家や学校でつらいことがあった時に誰でも利用できるかけこみ寺のような所があればよい」「放課後の居場所づくりで地域の人と中高生をつなぎ、運営ボランティアなどで活躍できると良い」との意見がありました。
2	教育費の無償化・支援等	42	
3	学校・教育関連	29	
4	相談支援	21	
5	学習スペース、自習室、居場所	15	
6	医療費	11	
7	親・家庭の環境、教育の教育	10	
8	不登校・障がい・発達支援	10	
9	児童手当	7	
10	ひとり親に関すること	5	
11	安心・安全な地域づくり	4	
12	施設（公園、図書館、民間施設等）	4	
13	学習支援	3	
14	いじめ	1	